

卒業

東野圭吾

——卒業したら
過去が消えるとしても
考えているのか？——

『卒業』という書名を聞くと、皆さんは青春小説のようなものを思い浮かべるかもしれない。だがこの作品は、そうした要素を含みつつ、一方で本格推理を楽しめる1冊である。

とある秋の日、卒業を間近に控えた国立T大学の4年生、牧村祥子がアパートの自室で死亡しているのが発見された。密室に残された死体、異なる目撃証言、見えない動機。彼女の死にはあまりに不可解な点が多すぎた。果たして自殺なのか、他殺なのか。祥子の親友の相原沙都子は、高校時代からの同級生である加賀恭一郎らとともに謎の解明に挑むが、大きな手がかりをつかむには至らなかった。そんな中、沙都子の高校時代の恩師が主催した茶会「雪月花之式」において第二の事件が発生する。友人たちの誰かが犯人であるかもしれないという疑心暗鬼の中、加賀と沙都子は2つの事件の全容を突き止める。

この作品の大きな特徴として、事件の動機の解明に重点を置いていることが挙げられる。なぜ事件が起きたのかということ突き詰めていくうちに、徐々に事件の全容が明らかになっていく。その中で、友人たちの心の闇や、友情と現実との間の葛藤に揺れる加賀と沙都子の心情

が緻密に描き出されている。また、剣道や茶道といった部活動が、事件に深く関わっていることも特徴の1つである。

著者の東野圭吾はシリーズものの作品が少ない作家であるが、この作品は、昨年春のドラマ『新参者』で注目を集めた「加賀恭一郎シリーズ」の第一作として発表された作品であり、これまでに本シリーズを読んだことのある人もそうでない人も楽しめる1冊となっている。

犯行動機やトリックをはじめとする事件の謎は、いずれも意外な形で終焉を迎える。加賀や沙都子とともに謎を推理しながら、皆さんに読み進めていただきたい。(飛燕)



『卒業』
講談社文庫
定価：620円

ジンジャーホットミルクティー

ginger hot milk tea



寒い季節。ほっと一息つける温かい飲み物のレシピをお届けします。

材料(1人分)

すりおろしショウガ 小さじ1
砂糖 大さじ1
紅茶 ティーパック1袋
牛乳、熱湯 各100ml
シナモンパウダー お好みで



- 1 カップに牛乳を入れ、電子レンジ(500W)で40秒間加熱する。
- 2 小鍋にお湯を沸騰させ、ショウガと紅茶を入れ1分煮て、砂糖を加え火を止める。
- 3 2を網でこしながら1のカップに注ぎ、スプーンで全体を混ぜ合わせたら完成!